

小野 あずさ

契約とエージェント

イギリスでのほとんどの演劇照明デザインのお仕事は、契約書を交わして行われます。大体の場合は、お仕事の話をふられる時点で、報酬と照明の予算額を知らされますが、すべてのプロダクションがそうであるとは限りません。先に台本をデザイナー（照明家）に読んでもらい、その感想とアイデアをカジュアルな面接で話し合ってから、デザイナーを決めるというときも稀にあります。大きなスケールの公演ですと、演出家や劇場専属の照明家（レジデントデザイナー）が手がけることが多いですが、小中スケールのプロダクションですと、面接や電話での話し合いで決められることがあります。毎回違うデザイナーとお仕事をしたいという演出家さんの場合もそうです。

そういったカジュアルな面接では、自分の過去の作品の写真を見せながら趣旨を話すこともあれば、面接に何も持ち込まずに、今回やる舞台について、すぐに話し合うということもあります。ある程度のデザインの仕事をこなしていくと、ウェブ上でのポートフォリオをクライアントに送って見てもらったり、エージェントがついているデザイナーは、エージェントが仕事をとってくるということが多いようです。

自分の場合は、以前一緒に働いた人の紹介で、お仕事をいただくことがほとんどで、自分が照明デザインを手がけた公演を観にきてくださった演出家の方から直接、お話をいただくこともたまにあります。イギリスのオフウエストエンド界は、公演や劇場はたくさんあるものの、意外と世界は狭いので、噂や紹介、ゴシップなどが広がるのはあっという間です。常に緊張感と責任感をもって仕事に徹し、丁寧に人に接するよう自分でも心がけています。しかし、特に時間のないオフウエストエンドの現場だと、人当たりばかり気にしている余裕はありません。ただひたすら、信じるものに突き進み、余裕ができたらニッコリ。仕事の出来栄えが良ければ、ニコニコしていなくても、仕事は回ってくるものですが、人間関係も良ければさらに働きやすくなることは常に心がけているつもりです。

エージェントの話に戻りますが、日本との大きな違いは、ほとんどの大物照明家はエージェントがついています。中スケールの公演を手がける照明家も、ほとんどの方がエージェントをもっていると言っても過言ではないでしょう。ご存知のとおり、エージェントはデザイナーの契約代理人なので、契約の交渉や、仕事を推薦したり、デザイナーの宣伝を担ったり、エージェントそれぞれです。ほとんどのエージェントは、デザイナーの報酬の10%を受け取ります。ロンドンで有名なエージェントを挙げると、ユナイテッド・エイジェンツ（www.unitedagents.co.uk）と、クレア・ヴィダル（www.clarevidalhall.com）です。これらのエージェントは、照明家だけでなく、演出家、役者、舞台美術家、音楽家、振付家など、彼らが抱えるクライアントは実に幅広いです。

ウエストエンドの劇場で働く友人から聞いた話ですが、ほとんどのウエストエンドや有名なオフウエストエンドの劇場では、エージェントのついていない照明家は基本的に雇わないという、暗黙のポリシーがあるそうです。演出家が「この照明家でないと仕事ができない」など、よほどの理由がない限り。プロダクション／劇場の立場にしてみれば、無名のデザイナーを使うことは、リスクになりかねないという考えがあるのでしょう。エイジェンシーをもつこと＝デザイナーとしてブランド化するということで、地位を確立させるということに繋がってくるのです。

しかし、デザインや、人とのやりとりがうまくいかなかったり、仕事で大きな失敗をすれば、エージェントは去っていくので（実際にエージェントから外された人を数名見ました）、エージェントがついたからといって、今後の仕事が保証されるというわけでもないということです。エージェントをもつ大きな利点は、金銭面の話をすべて彼らに任せて、デザインに集中できること、そして、もし追加公演やツアーに行くことになったときに、ロイヤルティー等の交渉をしてくれること、アシスタントの手配をしてくれること、そして今まで関わったことのない大きな劇場からも、仕事が回ってくるようになるということではないでしょうか。



大エージェント『クレア・ヴィダル』

自分は、エージェントから一度、オファーをいただいたことがありますが、その頃は演劇のみの道に進みたいか確信できなかったので、断ってしまいました。後になり、友人から「彼らは、結構大きなエージェントなのに、なんてもったいない！大変なチャンスを逃しちゃったね。」と罵られました。試しもしないで断ってしまったことに、少し後悔の念がよぎりますが、演劇以外の照明のお仕事もやりがいを感じていますし、自分を成長させるチャンスと思っています。そして、ジャンルを選んで働ける今の環境はとても気に入っているので、結果オーライと思っています。